

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.18 2010 1/1



中之島に住んでみる？



ナカノシマ大学

橋爪節也

(大阪大学総合学術博物館教授)

「謎解き!? 浮世絵『浪花百景』を見よ」

申し込み受付中!

1960~70年代
生まれのビルの
この「いい感じ」が
好きな人、
ご一報ください。



(左から) 純喫茶好きの姉崎由美子さん、リノベーション集団「アート&クラフト」の阪口大介さんと岩田雅希さん、建築家の高岡伸一さん、「乙女モダン図案帖」を出版した夜長堂の井上タツ子さん。

1 ビルマニアカフェ

取材文／大迫力永誌

戦後の復興期から成長期にかけて建てられたビルの持つ、野暮ったさの残る何とも言えないシブさ。これがビルマニアカフェ（BMC）のメンバーが共有する「好きな感じ」だ。昨年10月に事務所を構えた天満の鉄道広告社ビルも昭和42年（1967）生まれ。このビルの2階から、BMCの新たな発信が始まろうとしている。

それぞれのデスクがある「応接室」の壁に、シヨウウインドウ付きの窓を設置。レトロ雑貨が入っており、開けばビルの名にちなんだ「キオスク」がオープンする。イベント時にはバーカウンターに早変わり。「BAR階段室」がお目見えする。また、「社長室」は昭和の雰囲気そのままに打ち合わせスペース

ースとして使用。「会議室」は1坪ずつ貸し出している。「使っているのを見せることで、『いいやん』と思ってくれる人を増やす」（阪口さん）のが狙いだ。絵葉書になるようなレトロ建築とは違い、この時代のビルへの注目度はまだまだ低く、オーナー側も魅力を感じていない場合が多い。それでも「きちんと説明すれば長さは伝わるし、『良いね』と言ってくれる人が増えれば貸す方の意識も変わる」と建築家でもある高岡伸一さんは話す。BMCが目指すのは「ビルとユーザーのマッチングを図る」仲人」となること。今はその一歩手前、自分たちの価値観を広め、ファンを増やす「基礎工事」の真っ最中といったところだろうか。

B.M.C.のココロミ

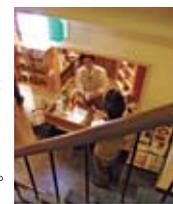
「会議室」は1坪ずつシェア。

会議室として使われていた部屋は、1坪ほどずつに区切って貸し出し。賃料は13,000~16,000円で、すでに成約済みのブースも多い。写真のように土・日だけのモロッコ雑貨店 [nora] をオープンする人、事務所にする人など用途は様々。



昼はキオスク、夜はバーに。

入口近くの窓を改造し、カウンターを搭載。昼は雑貨を並べて、店名もビルの名前にちなんで「キオスク」（2:00PM~7:00PM 火曜・日祝休）。夜には「BAR階段室」がオープン。月に数度、イベント営業として行っている。シャレの効かせ方が絶妙！



ビルマニアカフェ

それぞれに建築・不動産関連の職業に携わる5人のユニット。イベントを中心に活動をしてきたが、このほど本部事務所を開設。店舗・住宅問わず渋ビルの相談など、メンバーと同じ感覚の持ち主なら、まずはbmc2008@s-takaoka.netまでご一報を。情報には基本的にオープンソースで教えてくれる。それぞれの本業を活かし、設計・施工・インテリアの相談にも乗ってくれる。http://bldg-mania.blogspot.com/

3 MOKスクール

取材文／松本創（本誌）

長屋に銭湯、理髪店などが連なるのんびりした福島の路地。板塀で囲われたお寺の境内に、2階建てのモダンな木造建築が姿を現す。表札に「木構造住宅研究所」「MOKスクール大阪」。読んで字のごとく、ここは木の住まいの良さを見直し、その設計技術や工法を広めていくための拠点である。

設立のきっかけは15年前、木造住宅が多数倒壊した阪神・淡路大震災。木造住宅について根本から学び直す必要を痛感した建築や設計の専門家たちが集まった。「日本の戸建て住宅は8割が木造。なのに、ほとんど大工さん任せで、建築士や設計事務所は積極的に関わってこなかった。その反省から震災の翌年に専門家向けのスクールを立ち上げ

たんです」と講師の一人、三澤文子さん。旗揚げの会場は大阪市中央公会堂。最近西長堀に移転するまで堂島川べりに建つN.T.T.のビルでやっていたというから、静かなムーブメントはシマで育まれてきたのだ。

建築士である三澤さんのオフィスとスクール事務局を兼ねるこの建物を、福泉寺の敷地を借りて建てたのは約8年前。2階は「MOK SOHO」として志を同じくする若い建築士たちに貸している。「木の素材は一つとして同じ模様が無い。小川の流れる眺めるような安らぎがあります」という三澤さんの言葉に、日々川に癒されている島民なら深く納得。ビル街のすく足もとに、建築の新しい可能性が広がっている。

MOKのココロミ

木造建築のすべてを学ぶ。

スクールは月1回ペースの座学のほか、奈良の吉野、鳥取の大山へ林業の現場を見に行くツアーもあり、製材所や材木商の人たちも受講している。1~3月を除く9カ月でワンクールだが、修了後も毎年聞きに来る熱心な人たちも多い。



SOHOに若き建築家集う。

1~2坪の「MOK SOHO」には若い建築士たちが集う。家賃が安い、高い機材や打ち合わせ場所を共有できる、情報交換ができる...などが利点。「住宅密集地なのに窓からの眺めがいいのが気に入ってます」と店子の一人トヨタヤスシさん。



MOKスクール大阪

「まっとうな木造住宅」を普及させるために96年に開講。構造や設計、施工手法などの技術面はもちろん、林業の現状、木材の調達、コストまで「木造建築のすべて」を実践的に学ぶ。第一線の講師陣がテーマ別に担当する講義には毎回70~100人が参加。遠くは九州や四国から通う受講生もいる木造界の有名講座。カリキュラムなど詳細は<http://www.mokosaka.jp/> ☎06-4796-7818

ビル街の足もとで
木造住宅の心地よさを
見直してみませんか？



お寺の本堂との間にちょっとした緑側のような空間がある。「ビルを仕事場にしていた頃と気分が違う。空間って気持ちを左右するんですね」と三澤さん。

3 水辺不動産

取材文／松本創(本誌)

川の見える物件専門、という中之島ならではのクワイのプロジェクト「水辺不動産」については以前紹介したが、その拠点である事務所自らが水辺のビルへ移ったと聞き、さっそく訪ねてみた。大川を望む窓際で迎えてくれた末村巧さん、「これまでも『水辺はいいですよ』って勧めてきたけど、いや実際こまめで快適だとは…。マイナスイオン効果でしようかね」とすっかり満悦である。

以前事務所があったタイピルの取り壊しに伴い、昨夏に移ってきた天満橋の「ビル・リバーセンター」は、マイルやガラスブロックの装飾も心憎いビンテージビル。水辺不動産の取り扱った物件だった。最上階である6階北側の大きな窓から、中之島の先端・剣先を見下ろす絶好の水辺ビュー。大噴水が弧を描き、水上バスや船が行き交い、夜には街の灯が水面に揺れるのが、意識せずとも視界に入ってくる。末村さんのデスクは当然、川向きに配置。「疲れないので確実に仕事の能率が上がりましたね。仕事の後も酒を飲みながらぼおっと夜の川を眺めたり、休みの日はここでヨメさんと昼飯食べたりしてます」と、いいことづくめなのである。

水辺生活の愉楽を知るのに、これ以上のモデルもない。とりあえずサイトで豊富な物件をチェックしたら、直接相談に行ってみるべし。南側の土佐堀通に面したデスクはオフィス貸しをしているので、ここに仕事場を構えてみるという手もある。

水辺不動産のココロミ

机あり、連携できる人求む。

土佐堀通りを見下ろす南側は白い机が並ぶオフィス貸しスペース。賃料は一区画30,000円。間仕切りがないので、一つの会社のような親密さ。「不動産を核にデザインやリノベーションなどで連携できる方」(末村さん)を募集中。



非「均質化」物件のススメ。

水辺不動産は、末村さんが代表を務める不動産事業者のネットワーク「みんなの不動産」(http://minfudo.com)の一部門。「新築」「設備充実」ばかりを売り物にする均質化・効率重視の不動産とは異なる観点から、味のある物件を紹介している。



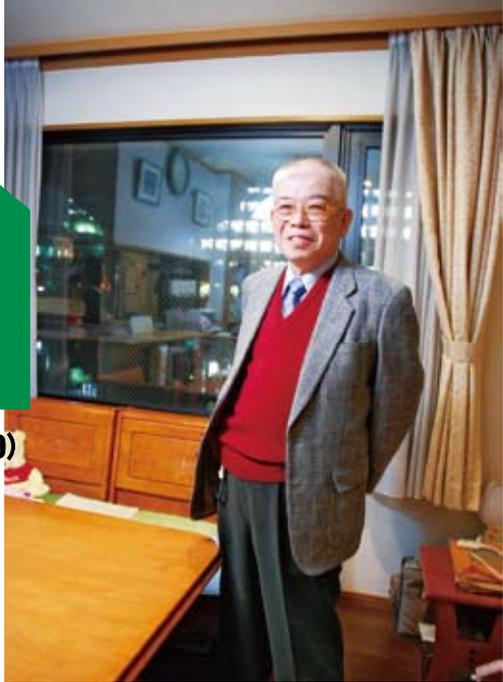
水辺不動産

大阪の水辺に賑わいを取り戻すことを目指すNPO「水辺のまち再生プロジェクト」が立ち上げた不動産部門。サイトhttp://mizube-fudosan.com/では、NPOのメンバーで、実際に不動産事業を営む末村さんたちのネットワークにより、川のほとり、海がみえる、池のそばなどの物件を専門に紹介している。中之島周辺にもオフィス、住宅、店舗などさまざまなタイプあり。☎06-6314-6408

嗚呼…憧れのナカノシマ生活

中之島にとって、「働く」に比べればまだまだ馴染みの薄い、「住む」とはいえ実際に住んでいる人もちゃんといる。「一体どんな暮らしをされているんだろう？」その実態をお聞きした。

取材文／大迫力(本誌)



川べり4階建て一軒家

藤井和美さん(69)

「昔はよう川で泳いだわ。貸しボート屋も多くてなあ。川にハマってしもた人よう風呂に入れてあげたで」。そう笑って話す藤井さんのお宅は、堂島川の北岸。窓を開ければすぐ目の前を川が流れている。お祖父さんの代からこの場所に

住んでいるというから、かれこれ100年近くになる。「今は中央公会堂の方を回るようになったけど、『天神祭の陸渡御はうちの前を通ってたんや』って親父がようボヤいてた」なんていう話も、長く住んでいればこそだ。

大阪地方裁判所がすぐ近くとあり、お父さんは裁判官の調書を写す謄写業を営み、藤井さん自身も長らく裁判所の事務官として勤められていた。住み、働き続けてきたこの街を愛する心は今も変わらず、母校である西天満小学校の子どもの世話をや、登下校時のパトロールをボランティアで行っている。「地域全体で子供を育てるとい意識がある」と藤井さん。そんな土地柄ゆえか、子供の頃をここで過ごし、親となってまた周辺の方譲マンションに移り住んでくる人たちも多いそうだ。



ジャンパーに帽子姿で、小学生の安全を守るのが日課。右は窓からの眺め。絶景かな、である。

トウミン不動産Column.1

中之島の「お値段」、実態調査。

取材・文／田井麻希(本誌)

中之島の物件には「なんか、高そう」なイメージが定着している。オフィスタワーに紛れて建つ、タワーマンションが一因かもしれない。中之島とその周辺には、ここ5～6年の間に、タワー物件が相次いで供給されている。「ご好評を頂いておりまして、ご案内できるお部屋が残り少なくなっております」とは、タワー物件を販売しているとある営業マン。昨年9月に竣工したこの物件は、総戸数300



戸超のうち、9割が成約済み(昨年12月取材時)。1坪あたり220～230万円と、決して手頃な価格とはいえないが、完売は目前。購入者には新婚世帯も多いそうだ。「高層マンションは資産価値が下がりにくい、というのがひとつ挙げられます。他人に貸す、または売却する際にも、貸し手・買い手がつきやすい。購入者の方には、今後の住み替えを視野に入れた方も多そうです。眺望や日当たりが良いというのももちろんですが、高層物件の魅力は、ホテルのような共有施設やサービス。資産価値を維持するためにも、これらを充実させています。また、中之島に限定して言うと、30年前に建てられた物件が、当時の販売価格と比べても500万円程度しか下がっていない例もある。供給数が少ないので、

値段が下がりにくい地域なのです」では、中古市場では実際、どれくらいの価格で取引されているのだろうか。不動産物件検索サイトで、京阪電車中之島線沿線(天満橋駅～中之島駅)を調べてみた。ヒットした物件は15件、中之島の中に限定すると、たったの2件だ。中之島駅近くの物件は、築10年の物件で1坪あたり150万円。築29年の物件では98万円。30年近く経っている物件でも、郊外の新築物件とさほど、値段は変わらないという結果となった。これらから見ても、やはりイメージ通り、「中之島」という土地につけられる値段は高い。しかしそこには、物件の希少性だけでなく、ポテンシャルに期待した市場の声が反映されているのではないだろうか。



川のほとりで暮らすシアワセを実感したい方、物件あります。

「現場仕事もあるからこれが制服」とドカジャン姿の末村さん。背後では、30分ごとに剣先の大噴水が噴き上がり、さまざまな船がのんびり水面を行く。



月に1度の町内会の会合は、室谷会長が経営する3丁目の喫茶店【bois(ボア)】で開かれる。

2008年4月のお花見の様子。「お年寄りが多いからサクラの時は寒くてお尻が冷えるゆてね」と、ツツジが見ごろの「みどりの日」に決めている。9月にはお月見会も。



「みんなでそろえたんですわ」と特製ジャンパーを着てきてくれた6丁目の依田均さん。「中之島」の文字が渋すぎます。

すべては島民の笑顔のために。 【中之島連合振興町会】

市立科学館の南に50人近い住民が集まり、毎年4月にお花見会が開かれているのをご存じだろうか。主催は「中之島連合振興町会」、いわゆる町内会の恒例行事だ。その経緯を教えてもらおうとお邪魔した会合では、「きっかけはゲートボールやったかなあ」と6丁目の大鹿孝さんが口火を切れば、「あれ何年頃やったっけ」「〇〇くんが生まれたから…」とご近所メモリアルが次々とあふれだす。中之島全体で住民のつながりを深めようと始まったお花見会は、30年近く続いてきた。

町内会の会員は古くからの住民が中心で、マンションからの参加は少ない。「以前『入ると何かトクなことあるの?』と聞かれたけれど、そんな期待されたら困ります」と会長の室谷光彦さんはいふ。活動は夜回りや清掃にはじまり、共同募金やマラソンの応援にも出向く。「それでも自分らの街のためやからね。近所のみんが楽しそうに笑ってるのを見るのも嬉しいし」。その言葉には、ご近所さんへの思いやりがあふれていた。中之島住民なら誰でも入会可。こんな「島の輪」なら、入ってみたいなりません?

町内会へ「お邪魔しま〜す」。

町内会という言葉が懐かしい響きを帯びるようになったのはいつからか。しかし、コンクリートジャングルの中之島にだって、ちゃんと町内会は存在する。少しずつ住民が増えてきた今だからこそ、大事にしていきたいコミュニティだ。

取材・文/松本 創 若狹健作(本誌)

オフィスビルの「町内会ノリ」大宴会! 【中之島インテス】

テナントの親睦バス旅行が毎年の恒例行事だったとか、同じビルに勤めていた縁で結婚したとかいうオフィス物語がすっかりセピア色の思い出となったご時世に、テナント同士の古きよきお付き合いの場を設けているのが「中之島インテス」。33社、計2,000人が働く22階建てのオフィスビルながら、毎年7月には「え、町内会ですか?」と見まごうばかりの納涼祭で大いに盛り上がる。

10年前から続く祭りは1,000円程度で飲み放題・食べ放題。ピヤガーデン風に提灯を張りめぐらせた11階カフェテリアに社員や家族250人が詰め掛け、ミニライブあり、〇×クイズあり、抽選会あり…の大宴会。ビル内のコンビニでチケットを売り出せばすぐ完売となる名物行事である。飲料・食品、オフィス文具や健康器具といった賞品をテナント企業が提供する「お互い様」なノリは、ほとんど一つの町。クリスマスには鉢植えのプレゼント、数年前までは師走の餅つき大会もあったというアットホームビルは、出社が楽しくなること間違いナシのオフィス物件なのだ。



大盛況の納涼祭。酒とシマの夜景に酔い、会社を超えた出会いが生まれそうである。



かつて流行った「友達の輪」ではありません。毎年恒例の〇×ゲームの光景にも懐かしさが漂う。



祭り開催を告知するポスターも手作り感満載。



リビング・ダイニングは窓に囲まれており、天気の良い日には大阪城、通天閣までも見渡せる。

良展望 タワー マンション

田中 宰さん(69)



田中さんが、奥様と共に東京から中之島西部にある分譲マンションに移り住んだのは4年前。現在のお仕事である阪神高速道路の会長に就任することがきっかけだった。「都市部を走る高速の仕事に就くんだから、ど真ん中に住まないと」。窓からは中之島を縫うようにして走る高速道路はもろろんのこと、大阪市役所や中央公会堂まで見渡せる。「この景色がなかったら、ここには住んでなかった」とおっしゃるように、眺

望はやはり中之島に住みたくなる大きな理由となるようだ。生活する中で不便はほとんど感じないという田中さん。特に気に入っておられるのが、帰宅後の時間を長く使えるということだ。「一度、家に帰ってからフェスティバルホールや繁昌亭に出かけたり。夜が長いと、こんなに豊かな気持ちになるんだねえ」。その他に中之島では大阪クラシックや大阪国際女子マラソン、御堂筋Judoといった大きなイベントが折々に開かれる。足繁く通う中で、「都市の動きの中に身を置けること」の快適さを実感されているようだ。

これから

「層間人口と夜間人口の差が激しい。人のぬくもりや呼吸が感じられる街にならなくてはいけないと思う」

マンション自治会

昨年まで住んでいたマンションの自治会理事長をされていた田中さん。京阪電車中之島線の試乗会を行ったり、清掃活動を企画したことも。住民同士の連携はやはり中之島でも重要なようだ。

賛沢

この場所に住む賛沢とは、「川と緑、空があること。それに歴史や文化というものはお金を出しても買えないからね」。

周囲の反応

「中之島に住んでると話すと、いまだに『中之島って住めるんですか?』とよく言われます」。

アナノシマ生活アラカルト

トウミン不動産Column.2 「北区中之島」の アドレスを 手に入れること。

京町堀で「ラ・クレーアール京町堀パークヴィラ」という分譲マンションを手掛ける、ビルワーク代表取締役の石田明美さん。周辺地域である中之島を市場調査した際に、土地の「希少性」を感じたという。「まず住宅を建てられる場所が少ない。街としてもユニークで、梅田の近隣という都会にありながら、閑静で洗練されている。市役所や裁判所など、官公庁が集まる大阪の中心であり、中央公会堂や

中之島図書館など素晴らしい建築物が大阪時代の空気を伝えている。また、京阪電車中之島線の開通でアクセスがぐっと良くなった。これからの楽しみな街ですね」。病院やホテル、ホールに公園と、生活面・文化面の施設が揃っている中之島は、大阪の中でも特異な地域だという。

では、周辺の状況はどうか。石田さんは、中之島周辺が「ブランド地域」とであると指摘。「中之島の北西に位置する福島や、北浜〜土佐堀・京町堀といった中之島の南のエリアも、人気が高い。いずれも、梅田や難波に次ぐ街になるという期待の表れだと思います」。

中之島に住むには、どんな人が向いているのだろう。「単身者やDINKS、子育てを終えた大人の世代にお勧めしたいですね。ファミ

リー世帯というより、家賃にお金がかかる世代をターゲットにした物件が多いですから」。昨年は「水都大阪2009」を開催するなど、府や市が中之島の活性化に力を入れていることは十分に伝わってくる。「北区中之島」のアドレスを手に入れることは、大阪の今後の発展を肌で感じる特等席を得ること、と言えそうだ。



ビルワーク代表取締役 石田明美さん

大阪府内でマンション分譲事業を手掛ける。「ラ・クレーアール京町堀パークヴィラ」ほか、最新の物件情報はこちらから。<http://www.kyomachibori-park.com/index.html>

2010年
2月講座

「謎解き!? 浮世絵『浪花百景』を見よ」 橋爪節也 (大阪大学総合学術博物館教授)

書店を覗けば「いつの間に!?!」といった感じで、にわかには浮世絵ブームの様相を呈してきたこの頃。しかし、大阪にだって一世を風靡した“ベストセラー浮世絵”があったことをご存じだろうか。それがこの『浪花百景』と呼ばれる風景を描いたシリーズである。

安政年間(1854~1860)の頃、大坂で活躍していた浮世絵師、歌川国員・歌川芳瀧・歌川芳雪の3人によって合作されたものだが、その来歴については知られていない部分が多い。誰がどんな意図で出版したのか? 描く場所はどのようにやって決められたのか? 3人の絵師の素性は? そして何より、描かれた風景からどんなことが読み取れるのか?

そんな謎を解き明かしてくれるのは、上方美術史のエキスパートである大阪大学総合学術博物館教授の橋爪節也氏。150年前、大坂の町人たちを魅了した鮮やかな風景の数々は、現代の私たちにだってインパクトは特大。ふだんの街の見え方もきっと変わります。



はしづめ・せつや
大阪大学総合学術博物館教授。
専門は日本美術史。大阪市立近代美術館(仮称)建設準備室主任学芸員を経て、2008年より現職。1958年大阪生まれ。



『浪花百景』より「玉江橋景」(大阪城天守閣所蔵)。奥に見えるのは四天王寺である。

150年前の“ベストセラー浮世絵”で、
大阪の街が見える、分かる。

「謎解き!? 浮世絵『浪花百景』を見よ」

講師/橋爪節也
日時/2月12日(金) 7:00PM~(開場6:30PM~)
会場/大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール
受講料/2,000円 定員/150名
主催/ナカノシマ大学事務局
協力/大阪21世紀協会 大阪大学

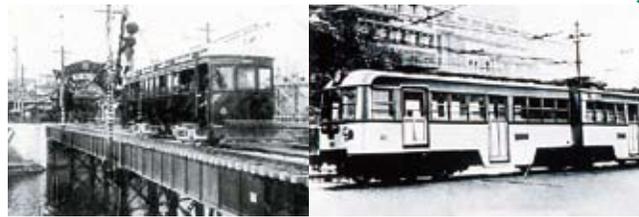
お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階「ナカノシマ大学2月講座」
受付係 FAX.06-4799-1341 <http://www.nakanoshima-univ.com/>
※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。
●ナカノシマ大学に関するお問い合わせは事務局まで ☎06-4799-1340

◎今回の教室:かつて中之島にキャンパスを構えていた大阪大学。その歴史を受け継ぐのがこの中之島センターである。阪大OBで元サントリー会長の佐治敬三氏の名を冠したホールは、ウイスキーの樽の中をイメージしたそうで、木材を使った暖かみのある空間になっている。

ナカノシマ大学の最新情報は <http://www.nakanoshima-univ.com>

2010年1月1日発行

京阪電車は今年100周年!



(上・左から) 明治43年開業当日の京阪電車/昭和9年デビューの「びわこ」号/ (下・左から) 昭和45年開業当時の京阪ショッピングモール/平成20年中之島線開業/昭和40年代のくずはローズタウン



「京阪の人、おけいはん」でおなじみの京阪電車が、2010年開業100周年を迎える。明治43年(1910)に大阪・天満橋から京都・五条を結ぶ鉄道として営業を開始して以来、ちょうど1世紀が経過したわけだ。これを記念して、中之島だけでなく沿線ではさまざまなイベントが

予定されている。開業当時の拠点の一つである「香里遊園地」内にあった「香里花苑」跡の成田山大阪別院敷地内にメイヨシノ100本を植樹する。また「ミューシウムトレイン」と呼ばれる移動展示館が中之島駅をはじめとして主要駅に登場。鉄道ファンにはおなじみの「2600系」車両を使い、写真・ポスターなどの宣伝資料や模型、オリジナルグッズが公開される。また、「京阪百年のあゆみ展」と題した企画展を京阪百貨店守口店で開催するほか、百年史の刊行、記念フォーラムの開催、さらに開業以来の重要な出来事をピックアップし全10作のポスターにして紹介するなど、鉄道好きだけでなく、街の歴史



開業100周年記念WEBサイト
<http://www.keihan100th.jp/>

リーガロイヤルホテルは今年1月16日に創業から75周年を迎える。ルーツである新大阪ホテル(写真)が創業したのが昭和10年(1935)のこと。大正末期から昭和初期にかけての大阪は「大大阪」と称され、人口は日本一を誇った。新大阪ホテルのベネアンゴシック式の豪華の外観

【コーヒーハウス コルペーユ】の創業年にちなんだ1,935円メニューのハンバーグとエビフライ(税・サ込み)。「カウンター割烹 みおつくし」、[鉄板焼・焼肉なにない]、など各レストランでも感謝メニューが食べられる。詳しくはリーガロイヤルホテル(代)☎06-6448-1121まで。



も、まさにそんな大正時代の象徴だったにちがいない。75周年記念の今年は、年間を通して様々なイベントを開催。ホテル内の飲食店でも創業年にちなんだお手軽なランチメニューも登場する。「食事するならロイヤルへ」と、長年大阪の食通を唸らせてきた伝統の味をぜひお試しあれ。(道田恵理子・本誌)



リーガロイヤルホテルで1935円メニュー

12月3日(木)

上方古典芸能を知る～講談vs浪曲～
@中央電気倶楽部 講師/旭堂南海 春野恵子

人の受講生を圧倒した。

講義では冒頭、二つの芸の違いが説明された。史実をもとにした物語を主に客観的な視点で語るのが講談。その長い読み物から場面を取り出し、節と三味線伴奏で情感豊かに演出するのが浪曲。「講談が大きな水墨画とすれば、浪曲はその一部を拡大して、極彩色に着色したもの」とは南海さんの見事な解説である。

両者の演目は井原西鶴『好色五人女』より「樽屋おせん」。浪曲の大御所・春野百合子師匠の十八番だが、ふつう講談では扱われない話。つまり、南海さんはこの日のために書き下ろした新作、春野さんは自分の師匠の持ちネタで勝負するという緊張感あふれる対決となった。

先攻は南海さん。身持ちの固い商家の女中おせんが男に言い寄られてお伊勢参りに赴く道中記、商家の主人との不義の仲を疑う女将のイジメに耐えかねて復讐へと傾いていくさまを、時に声を張り、時に笑いを交え、緩急



自在に語り尽くした。後を受けた春野さんは物語の後段をクローズアップ。女将とおせんを代わる代わる演じつつ、女の情念の絡み合い、暗い炎が燃え上がっていく心の内を描いて見せた。

二人の競演は、講談と浪曲の違いを浮き上がらせるとともに、物語の奥行きを深さをかせてくれたのである。



一般の人はなかなかホンモノに接する機会がない上方古典芸能の世界。それを「講談vs浪曲」の対決形式で楽しんでもらおうと開かれた第3回ナカノシマ大学。演ずるは、本誌連載でもおなじみの実力派講師・旭堂南海さん、そして、浪曲界の将来を担う若手として期待される春野恵子さん。同じ話をネタにしながら、それぞれの解釈・持ち味を全開にした両者の対決、いや、見事なりレーは約100

万人の感動

最新の音響、照明でドラマチックな舞台を演出。
コンサート、スポーツ、コンベンションなど、
さまざまなイベントに対応するビッグなアリーナです。

財団法人大阪城ホール

〒540-0002 大阪市中央区大阪城3-1
TEL.06(6941)0345 HP・http://www.osaka-johall.com
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅下車徒歩3分
JR大阪環状線「大阪城公園」駅下車徒歩5分

研修会、講演会、展示会に、
コンベンションホール(150人収容)をご利用ください。



21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

都市文化論
まちづくりまち育て講座

地域の自立が求められる昨今、全国的に地域ブランディングの動きが起ころってきています。地域にある自然、歴史・文化遺産、伝統行事・伝統芸能、食文化など、地域固有の資源を活かしたことから、市民やクリエイターによる新たなまち

おこしの動きなど、その内容は多種多様です。今回の講座では、主に「大阪」を中心としたまちづくり・まち育ての取り組みを紹介しつつ、都市の活性化と新たな文化創造につながる方法論について考えます。

大阪21世紀協会提供
インテリジェントアリー 専門セミナープログラム

大阪21世紀協会では、活動の一つとして、大学等の研究機関と連携し、知的成果を社会に活用する「社会学連携事業」に取り組んでいます。今年度には、特定非営利活動法人 関西社会人大学院連合との連携協定を締結し、同連合が主催する「インテリジェントアリー 専門セミナー」プログラムの企画・運営を行いました。

開催日時/平成22年1月～3月 水曜夜 19:00～21:00 全6回
会場/キャンパスポート大阪 大阪市北区梅田1-2-2 400号
大阪駅前第2ビル4階 ☎0662103620
参加料/1講座4000円(6講座通し18000円)
定員(最小催行受講者数)/35名(20名)
主催/財団法人大阪21世紀協会 関西社会人大学院連合
お勧めしたい方
●地域においてまちづくり活動に関わっている方、または関心がある方
●地域ブランディングについて、現場での経験を踏まえた深い洞察を得たい方
●プロジェクトの企画・立案から実際の運営に至るマネジメントについて学びたい方
修了証・成績票/全5回出席された方に修了証を発行します。

各講座内容

- 1.都市ブランドを考える** 講師/陶山計介 平成22年1月13日(水) 19:00～21:00
近年、都市ブランディングが都市再生における切り札の1つになってきました。都市マーケティングは都市や地域を再活性化することによって競争力を高めることができます。同時に都市ブランドは市民や企業、NPO、また自治体や観光客などにとって安心、信頼、感動とあこがれの対象となり、自信や誇りの源泉になります。国内外の事例をふまえながらそれについて考えてみましょう。
- 2.水都大阪による都市再生** 講師/室井明 平成22年1月27日(水) 19:00～21:00
「川と生きる都市・大阪」をメインテーマに、大阪を再生する新しい街づくりイベント「水都大阪2009」。2009年8月から10月にかけて開催された同イベントでの実施内容と、そこで芽生えたムーブメントを継続・継承していくシクまちづくりについてお話しいたします。
- 3.ワークショップ都市・大阪** 講師/小原啓渡 平成22年2月10日(水) 19:00～21:00
200種類の体験型講座を集めた、国際ワークショップフェスティバル「DOORS」の企画・運営過程を紹介しながら、文化イベントが街に根付いていくための戦略について分析します。
- 4.コンテンツによる地域おこしの実際** 講師/間藤芳樹 平成22年2月24日(水) 19:00～21:00
全国各地の街おこし・村おこしの成功事例には、ある共通項があります。それは「特別なものを作ったり、よそから持ってきたりするのではなく、今身近にあるものをきっちり掘り下げて作り込むこと」です。今回の講座では、具体的な成功事例を紹介しつつ、地域の魅力づくりについて考えていきます。
- 5.開発途上・まちおこしとしての市民力** 講師/林信夫 平成22年3月10日(水) 19:00～21:00
町を研究するさまざまな専門家集団、学術グループは存在します。町を活性化することを業務としておこなう行政職員がいます。そして町を元気にしたいと願う多くの市民グループも存在します。このトライアングルを主として市民の側から、平成遷都1300年祭の歩みを例示しながら考えてゆきます。
- 6.まちづくりと「コア・アイデンティティ」** 講師/堀井良殷 平成22年3月24日(水) 19:00～21:00
まちづくりの活動には「コア・アイデンティティ」の抽出と活動への照射が不可欠です。大阪ブランドコミッティや関西ブランド力向上研究会を例に、なぜ重要なのか、どのように抽出を行ったのか、それはどういった内容であったのか、実際の活動はどのように展開されたのかを明らかにし、分析・検証を行います。また、6回のシリーズ全編についての討議も予定しています。

21世紀の懐徳堂プロジェクト 1月の時間割

ワークショップに講演会など、中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



大阪カルチャークラスター!!

大阪にあるカフェやギャラリーなどで独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。
※ワークショップについてのお問い合わせは各店舗へお願いします。

9	土	6:30PM~8:00PM	「世界が変わる?写真教室」nemi (写真家) 受講料:2,000円(1ドリンクオーダー制) 難しい写真の技術を知らなくても、撮りたいものが撮れる技術をお教えます(ご自身のカメラを持ってご参加ください)。	会場B
10	日	11:00AM~3:00PM	「男子厨房」中東ゆうこ (ボーボー屋店主) 受講料:4,500円 『男子、厨房に入るべし!』少人数制で、料理することの楽しさをお伝えします。包丁の持ち方から、お招きごはんまで。	会場F
11	月(祝)	11:30AM~1:00PM	「自然にできるマクロビオティックサロン」豊村恵子 (料理研究家) 受講料:2,000円(料理費込み) 「ネリKitchen」の豊村さんが、「ミートスパゲティ」のマクロビ料理法をご紹介します。	会場C
16	土	10:00AM~2:00PM~5:00PM	「天然素材の無農薬玄米ホットウォーマー」吉井マユミ (クラフト作家) 受講料:3,500円(ランチ付き) 電子レンジで簡単あったか!からだに優しいオーガニックコットン&無農薬玄米の天然素材ホットウォーマーを作ります。	会場F
17	日	10:00AM~1:00PM	「トリ・スクール」岡山 拓 (美術家) 受講料:2,500円(1ドリンク付) 展覧会カタログを参照しながら、初めての人でも分かるようにゆっくりに美術史や各種ムーブメントについてお話をします。	会場D
		8:00PM~10:00PM	「働き方について考えるトークサロンvol.10」狩野哲也 (ライター) 受講料:1,000円 御舟かもめ船長の中野弘巳さんをゲストに迎えてインタビューします。転職で新しい分野に挑戦したい方必見です。	会場C

18	月	7:30PM~9:00PM	「石原正一のヨミズぎ!~古今東西名作朗読会~」石原正一 (役者・演出家) 受講料:1,500円 古今東西の名作を参加者全員で読みまくる夜です。具体的に配役に分けて、名作文章の世界を楽しんでいただきます。	会場A
19	火	7:30PM~9:00PM	「クリエイターのための英語ワークショップ」Duncan Brotherton (デザイナー) 受講料:1,500円 クリエイターのための「使える英語」を、いくつかのシチュエーションの中で英語を使うワークショップ形式で学びます。	会場A
20	水	7:30PM~9:00PM	「情熱の学校プレゼンツ トークの学校」エサキヨシノリ (プレゼン・デザイナー) 受講料:1,500円 自分の考えや想いを相手にちゃんと伝え、また自分の良さを、自分らしく相手の心に届けるためのトークセミナーです。	会場A
24	日	0:30PM~5:00PM	「Plain Life 革小物教室」尾崎美穂 (革小物作家) 受講料:5,000円(材料費・テキスト・ドリンク込み) millibar salonでお茶をしながら物作り。基本のカタチに工夫を加えて、あなただけの革小物にチャレンジです。	会場D
29	金	7:30PM~9:00PM	「始めるのは簡単、持続が難関!お店を始めたい人に!」いわさきゆうこ ([Green e books]オーナー) 受講料:1,500円 洋書の古本屋というニッチな商売を始めて6年弱。そこでの失敗&成功体験談を中心に、お店の経営についてお話をします。	会場A
30	土	2:00PM~(3時間程度)	「'ヒュッテ' 北欧へゆく毛糸でアームウォーマーを編もう」'ヒュッテ' アダチケンタ (編み物作家) 初心者でもできるアームウォーマーを棒針で編みます。北欧を感じる編み目のパターンでとても素敵な冬アイテムです。 ※初心者対象、8号棒針 4本持参下さい 定員:6名 参加費:3,000円~(毛糸代含む)	会場E

- A** common cafe 大阪市北区中崎西1-1-6 吉村ビルB1 ☎06-6371-1800 <http://www.talkin-about.com/cafe/>
B Books Coffee Gallery iTohen 大阪市北区本庄西2-14-18 1階 ☎06-6292-2812 <http://www.skky.info/>
C 中崎町サロン文化大学 大阪市北区鶴野町 お問合せ・お申し込み:<http://nakazakicho-u.blogspot.com>
D 欧風食堂 ミリバール 大阪市西区立売堀1-12-17 artniks bld. ☎06-6531-7811 <http://www.artniks.jp/millibar/>
E タビエスタイル 大阪市中央区南船場4-4-17 B1 ☎06-4963-7450 <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~tapie/>
F ボーボー屋 大阪市西区北堀江1-14-21 第1北堀江ビル3F ☎06-6531-7827 ippuku-popo@rio.odn.ne.jp

アートエリアB1 レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、京阪電車中之島線なにわ橋駅地下1階の[アートエリアB1]。1月のラインアップはこんな感じ。

7	木	7:00PM~9:00PM	オルタナティブカフェ「実践型:オルタナミーティング」定員:40名 「制度・サービスによって失った身体性」を取り戻すため、手芸・裁縫をしながらのカフェとします。 ※各自で用意するもの:裁縫に必要な各種(糸/針/布やTシャツ・カバン・修理したいものなど)
8	金	6:30PM~8:00PM	関西交通実務者懇談会「駅で語る都市再生」定員:20名 特区や都市再生の制度を創設された服部敦さんを迎え、交通を活かしたまちづくり・地域再生の可能性を議論する。 ※こちらはmorikuri@cscd.osaka-u.ac.jpで申し込みを
13	水	7:00PM~9:00PM	中之島哲学コレージュ/哲学カフェ「哲学の難問シリーズ」定員:50名 今回は哲学者たちが議論してきた難問に自分の頭を使ってチャレンジしてみましょ。予習厳禁につき、テーマは当日発表します。
15	金	7:00PM~9:00PM	鉄道カフェ「鉄カフェをみんなで考える2009」定員:30名 参加者によるプレゼンや素朴な疑問から派生した議論など、鉄道に関する様々な情報交換と対話が繰り広げられています。
20	水	7:00PM~9:00PM	デザインカフェ「デザインを研究する」定員:50名 デザインディレクションとデザインの社会的プロセスを研究する岡田栄造さんがゲスト。デザイン実務と研究はどう結びつのでしょうか?
29	金	7:00PM~9:00PM	中之島哲学コレージュ/セミナー「嘘の聞こえない耳」定員:50名 「嘘」と「聞こえない」という二重のディスコミュニケーションが生み出す事態の意味とは? その創造性と破壊性について議論します。

会場/アートエリアB1 問い合わせ/[カフェの内容について]大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD) ☎06-6850-6111 (豊中キャンパス代表)
 参加費/すべて無料 [場所などについて]アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
 開場/それぞれ開始30分前から ※申し込みは不要ですが、当日先着順とさせていただきます(入退場自由)。※お客さま参加型のプログラムです。



大阪大学
21世紀
懐徳堂

大阪大学21世紀懐徳堂

●第2回 大阪大学21世紀懐徳堂シンポジウム

24	日	1:00PM~5:30PM	「“大阪弁”で語り合う“かんきょう”!?!」地域と大学が一緒に考える“まち育て” part II 環境とはとても身近な言葉でもあり、一方で何か実感のない言葉でもあります。環境問題に関わる大学の役割や“まち育て”の観点もからめながら、“大阪弁”=生活者のことばで、“かんきょう”について語り合います。 [第1部]プレゼンテーション:下田吉之(工学研究科教授) 八木絵香(CSCD特任講師) 金水 敏(CSCDセンター長) [第2部]落語:桂 吉弥 タウンホールミーティング:「本音で話そう 市民生活と環境のこと」 ファシリテーター/西 靖 コメンテーター/鷲田清一総長 高杉英一理事 桂吉弥 第1部登壇者ほか
----	---	---------------	---

会場/大阪大学中之島センター10F 参加ご希望の方は、事前に以下の必要事項をご記入のうえ、FAX、E-mailでお申し込みください。
 佐治敬三メモリアルホール ①お名前(ふりがな)②性別③年齢④住所⑤TEL⑥FAX⑦E-mail ※定員になり次第、締切とさせていただきます。
 受講料/無料(要申込) 定員/180人(先着順) 「参加票」送付をもって受付いたしますので当日必ずご持参くださいようお願いいたします。
 問い合わせ/大阪大学21世紀懐徳堂 〒560-0043 豊中市待兼山町1-16 大阪大学21世紀懐徳堂[第2回シンポジウム担当]
 [第2回シンポジウム担当] ☎06-6850-6443 E-mail: info@21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp

●大阪大学21世紀懐徳堂i-spot講座 大阪大学が大阪市と共催で淀屋橋odonaにあるアイ・スポットで開催する講座です。

18	月	6:30PM~8:00PM	「哲学カフェ」への招待 家高 洋 (文学研究科助教) 「哲学カフェ」について簡単に説明した後、参加者全員で議論をします。テーマは「わからない人/人がわからない」(予定)です。
----	---	---------------	--

会場/アイ・スポット(淀屋橋odona 2階) 受講料/無料 定員/各30名 事前申込制 申し込み・問い合わせ/大阪市計画調整局 ☎06-6208-7824

●Handai-Asahi中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです(入会金不要)。

23	土	10:30AM~12:00PM	「新時代の日米同盟-安保改定50年」坂元一哉 (法学研究科教授) 受講料:1,575円 2010年は日米安保条約改定から半世紀。当時の課題を振り返りながら、同盟の目的、役割分担、法的基盤などを考えます。
30・2/6	土	10:30AM~12:00PM	「スギ花粉症、徹底分析!~この春は悩まない」荻野 敏 (医学系研究科教授) 受講料:3,150円(全2回) はじめに発症のメカニズム、花粉の種類、症状などを説明した上で、今年の花粉尘にどのように対処すべきかをお話します。

会場/大阪大学中之島センター インターネット、電話、ファックスが、朝日カルチャーセンターの窓口でも直接申し込むことができます。
 問い合わせ/朝日カルチャーセンター(中之島) ☎06-6222-5224 <http://www.asahi-culture.co.jp/index.html> ☎06-6222-5224 FAX06-6222-5221

今も昔も、大学生はバイトに精を出すものだろう。大江健三郎氏の『死者の奢り』には、解剖用の遺体をアルコール槽に沈める学生アルバイトの話が出てくるが、我々のころには、そんなバイトはなかった。医学生がもっぱらしていたのは、家庭教師である。

今から思うと無責任きわまりないが、大学生の家庭教師は、あまり効果がないように思う。大学生は、受験勉強のやり方は知っているが、教え方を知らないからだ。野球でも名選手が必ずしも名コーチでないように、プレーするのと教えるのはちがう。勉強ができる大学生に教えてもらえば、自分の子どもでもできるようなと思うのは、親の錯覚である。

私も家庭教師として、自分なりに一生懸命教えたつもりだが、決してバイト料に見合う実績を上げたとは、胸を張っていえない。

逆にいえば、それくらいバイト料の相場が高かった。今はどれくらいか知らないが、私のときは、時給に換算すると、3000円から5000円くらいだった。これは医学部レポートで、他の学部の3割増しくらいだったと思う。悪徳商売もいとこだ。しかし、当時は自分からそれを改めることは、なかなかむずかしかった。

金を得るだけなら、家庭教師ほど効率のよいバイトはないが、私はなんとなくそれではいけない気がして、大学4回生の夏休み明けから、家の近くの「ミスタードーナツ」でバイトをはじめた。昼間は講義があるので、バイトに入るのは夜である。当時、ミスタードーナツ（「ミスド」という呼び方はまだなかった）は24時間営業で、午後8時から午前2時までの「シヨート」と、午後10時から午前6時までの「ロング」の2シフトがあった。

バイト料は、シヨートで時給370円、ロングで420円だったと思う。家庭教師の約十分の一だ。身体も使おうし、気も遣う。しかし、いろいろと勉強になった。

初日はチーフからバイトの心得や仕事のやり方を習ったが、はじめから目新しいことばかりだった。スタッフの挨拶は、夜でも「おはようございます」だとか、控え室から店内に出るときは、客がいなくても「いらっしやいませ」と頭を下げるとか、客に聞き返すときは、「何ですか」ではなく、「はい？」だとか。

大学に入って、少しは学力に自信はあるつもりでいたが、バイト先ではわからないことばかりだった。

中之島ぶらぶら青春記⑨ 久坂部羊

ドーナツ屋で深夜のバイト。



学の実習で、脳波の変化を調べるとき、私はどの学生より深く眠って、「睡眠」の見本のような脳波を出したのだ。教授も「これは熟睡やな」と、あとでほめてくれた。

一度だけだが、中之島で医学生らしいバイトをした。先輩医師の研究の実験台である。ある蛋白質の代謝を調べる実験で、その蛋白質が入った食事と、まったく抜ききの食事を1週間ずつ続け、それまでの食べ物の影響が消えた後半3日間の尿を、すべて集めるのだ。

食事内容を厳密にするため、研究室で出される食事以外はいっさい口にしてはならず、水以外は清涼飲料水も禁じられた。2週間、決められたもののしか食べられないのは、けっこうストレスだった。自由に食べられるときは見向きもしなかったまんじゅうやキャラメルが、無性に食べたくなる。それに計6日間、大きなプラボトルに尿を溜めるといいうのも苦痛だった。すべての尿を集めるために、紙袋に入れて常に持ち歩くよう指示されていたのだ。

ある日、尿のたっぷり入ったプラボトルを持って電車に乗ると、小学校時代のアイドルだった女の子といっしょになった。「久しぶりね」とニコリ挨拶され、顔が引きつった。「その紙袋、何が入ってるの」と聞かれたらどうしようかと思つて。

このバイトの謝礼は2週間で1万円だった。高かったのか、安かったのか。

ンドイッチあるけ？」と聞いた。

あるいは、店に入ってくるなり、「タコヤキある？」と言う女性。数あるドーナツを選ぶのに、さんざん迷った挙げ句、「えーと、えーと、そのオレンジのアップルください」とこちらまで混乱させる客。酔っぱらったホステス風の女性客は、ホットコーヒーを注文して、「ストローある？」と言うので渡すと、大胆にもそれで約90℃のコーヒーを吸い込み、「ぎゃあああつ」と悲鳴をあげて出ていった（あとには溶けて曲がったストローが残された）。

「アンコの入ってるドーナツある？」と聞いてきた客に、「アンコはございませんが、チョコレートの入ってるのがあります」と答えると、「あかん。アンコはええけど、チョコレートは甘い」と意味不明の反論をされたり、ホットコーヒーを、「お待たせいたしました」と出すと、「ありがとう。塩ある？」とシニールな注文を受けたこともある。

ヤクザ風の客が来て、「ドーナツくれ」と言われてウィンドウからのぞくと、小指がない。緊張して、「こ、これですか」と確認すると、相手は「ちやう。こつちや」と苛立つ。私が「こ、こ、これですか」と再確認すると、「せや。早よ包んでくれ。ホットも持って帰るで」と言うので、マニユアル通り、「ミ、ミルクはお入れたしますか」と聞くと、「こちやこちや言わんと早よせえ。」と凄まれ、寿命が縮まったりもした。

ほかに、新婚のスタッフから奥さんの妊娠を告げられ、「おめでとござります」と言うと、「俺、そのとき、かなり酔うとってん。ちゃんとした子どもが生まれるやろか」と真剣に相談されたこともあった。

そんな愉快なバイトだったが、結局4カ月ほどでやめざるを得なかった。睡眠不足のため、教室で居眠りばかりになったからだ。

しかし、それが役に立ったこともある。生理

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。月刊『Voice』2010年1月号より、コラム「ニッポン新潮流」の連載開始。

21世紀の文化の担い方を考える。

関西・大阪文化力会議

世界的な不況とさらなる東京一極集中の進展は、地域経済への打撃、自治体の財政難、雇用機会の減少など、地域住民の生活にも深刻な影響を及ぼしています。欧米の例を見るまでもなく、文化による地域活性化や産業の高付加価値化が、日本の国際競争力強化には欠かせないといわれていますが、国・自治体の大幅な事業見直しは、地域の文化に大きなダメージをもたらそうとしています。こうした状況に鑑み、関西で活躍している文化人、学界、経済界などのオピニオンリーダーや、まちづくりで活動している市民、NPO、メセナ関係者をお招きしての会議を開催し、関西の文化が抱える課題を抽出・議論することで関西の文化力向上の方策を探ります。



主催：(財)大阪21世紀協会
共催：大阪国際フォーラム (株)大阪国際会議場
協力：企業メセナ協議会
日時：2010年1月28日(木) 13:00~18:00
場所：グランキューブ大阪(大阪国際会議場)10F
参加費：無料
お申し込み方法：お名前・お電話番号・FAX番号、eメールアドレス、参加される分科会を明記の上、FAXまたはeメールにて1月15日(金)までにお申し込みください。
FAX.06-6222-3730 e-mail.bunka@rogo.jp
お問い合わせ先：(財)大阪21世紀協会 ブランド・コラボチーム 担当：乾・加藤 ☎06-6942-2006

プログラム(予定)：

Keynote 基調講演 (90分/13:00~14:30)

山崎正和(劇作家・大阪大学名誉教授)
加藤恒夫(社団法人 企業メセナ協議会 専務理事)

Concert 大阪文化祭賞 受賞者紹介 (30分/14:30~15:00)

当協会が主催者に加わっており、大阪の優れたアーティストに贈られる「大阪文化祭賞」の平成21年度 受賞者を招き、文化力会議の出席者に紹介。
●平成21年度 大阪文化祭賞 グランプリ受賞者
チェロ奏者 林 裕

Subcommittee 分科会 (165分/15:15~18:00)

第1分科会「社会学連携」
議長：平松邦夫(大阪市長・予定)
●21世紀懐徳堂プロジェクト
●まちの学びの場
発言者：
奥野武俊(大阪府立大学学長)
木田好子(音楽プロデューサー)
金水敏(大阪大学大学院教授)
江弘毅(140B取締役編集責任者)
小原啓渡(大阪市立芸術創造館 館長)
定藤繁樹(関西学院大学副学長)

第2分科会「大阪の守るべきもの」
議長：木津川 計(「上方芸能」代表・発行人)
●伝統芸能・催事を守る
●関西ブランドの推進
発言者：
上田正昭(京都大学名誉教授)
阪口純久((財)上方文化芸能協会 理事)
高島幸次(大阪大学招聘教授)
中村雀雀(歌舞伎俳優・予定)
村田省三(アートコーポレーション 専務取締役)
八木意知男(京都女子大学教授)

第3分科会「誰が支える大阪の文化」
議長：調整中
●これでいいのか大阪の文化
●文化振興による地域再生策の緊急提言
「ニュー・コンパクト」IN大阪
発言者：
伊東雄三(ワッハ上方館長)
加藤種男(アサヒビール芸術文化財団事務局長)
廓(かまえ)正子(演劇評論家・予定)
旭堂南陵(講談師)
芝川能一(千島土地(株) 代表取締役社長)
土居年樹(天神橋筋商店連合会 会長)
西濱秀樹(関西フィルハーモニー 事務局長)

第4分科会「民がつくる大阪のまち」
議長：佐藤茂雄
(京阪電気鉄道 代表取締役CEO)
●事例から見るまちの賑わい
発言者：
泉 英明(NPOもうひとつの旅クラブ理事長)
大西隆(船場げんきの会代表世話人)
室井明(「水都・大阪2009」実行委員会事務局 局長)
山崎亮(studio-L代表取締役)
山部茂(南海電鉄専務取締役・ミナミまち育てネットワーク)
※議長・発言者は、都合により変更になることがあります。

ナカノシマニア

取材：文/大迫力(本誌)

ミ ラーボールか、あるいは不時着した未確認飛行物体か。実はこれ、「お寺」なのである。

その名を「堂島薬師堂」と言う。由緒書きを読んで驚いた。なんと文献上の初出は今から約1400年前の推古朝時代(593~628年)。「東は玉造に四天王寺をつくり、西の方洲の中に御堂を建立」とあるのが最初である。こうした歴史から、この地を「お堂のある島」すなわち「堂島」と呼ぶようになったそうだ。

その後、堂島薬師堂は地元の人々を中心に信仰を集める存在となる。江戸時代

には花街で働く女性や米相場師らが多く参拝に訪れた。明治42年(1909)に「天満焼け」と呼ばれた大火事で焼失するも、4年後に場所を少し東へ移して再建。この頃にもまた、当時、周囲に多かった置屋の綺麗どころが朝な夕なとお参りしていたようだ。

さらに昭和28年(1953)には町内世話人の要望により、奈良の薬師寺の管長を招いて復興祭を執り行い、節分や盆踊りが復活。昭和50年に毎日新聞社の新社屋移転計画に伴い再び移転



直径にして約7m。球体により、無限に広がる宇宙や天体、薬師如来の永久的なイメージを表している。周囲には池をめぐらせ、はすの花を模したオブジェも。夜は照明が灯り、なかなか幻想的な雰囲気。

アバンザ裏のモダン御堂は、飛鳥時代生まれだった。

をして以降は、同社が主体的に管理を行い、現在も月2回、薬師寺からお参りしてもらっている。

現

在の姿になったのは堂島アバンザが建設された平成11年。ミラ1ガラス127枚を組み合わせた斬新なデザインは、通行人の目を引きつける。ただ、宗教施設としてはどうか。本誌連載でもおなじみの浄土真宗本願寺派住職・釈徹宗先生にご意見をうかがった。

「ビルに合わせて現代建築的なものを、

というコンセプトだと思いますが、個人的にはお堂を周りに合わせずに、周りをお堂に合わせてほしいところです。

今も北新地の商売の方の参拝が多いのですが、薬師如来に商売繁盛をお願いをするのはちょっと変わっていますね。でも、民間信仰としては成立していますよね。法要を営まれているようですので、そこが大切。連続と続く信仰があれば、聖性を発揮しますから」なるほど、デザインより人々の心の平安の方が問題であるということか。

現在も、毎年2月3日には節分お水汲み祭りが行われている。町内会役員や薬師寺の僧侶、鬼、福男などが賑々しく北新地の各店を周り歩く。それに合わせて、クラブのホステスさんや従業員らも仮装して営業をする。「お化け」と呼ばれる北新地の恒例行事で、とあるバー店主によれば「お化けへの気合の入り方で景気が分かる」とも。飛鳥時代に生まれた小さなお堂は、街の変化に晒されながらも、地元にしつかり根ざし、愛されるお寺だったのである。

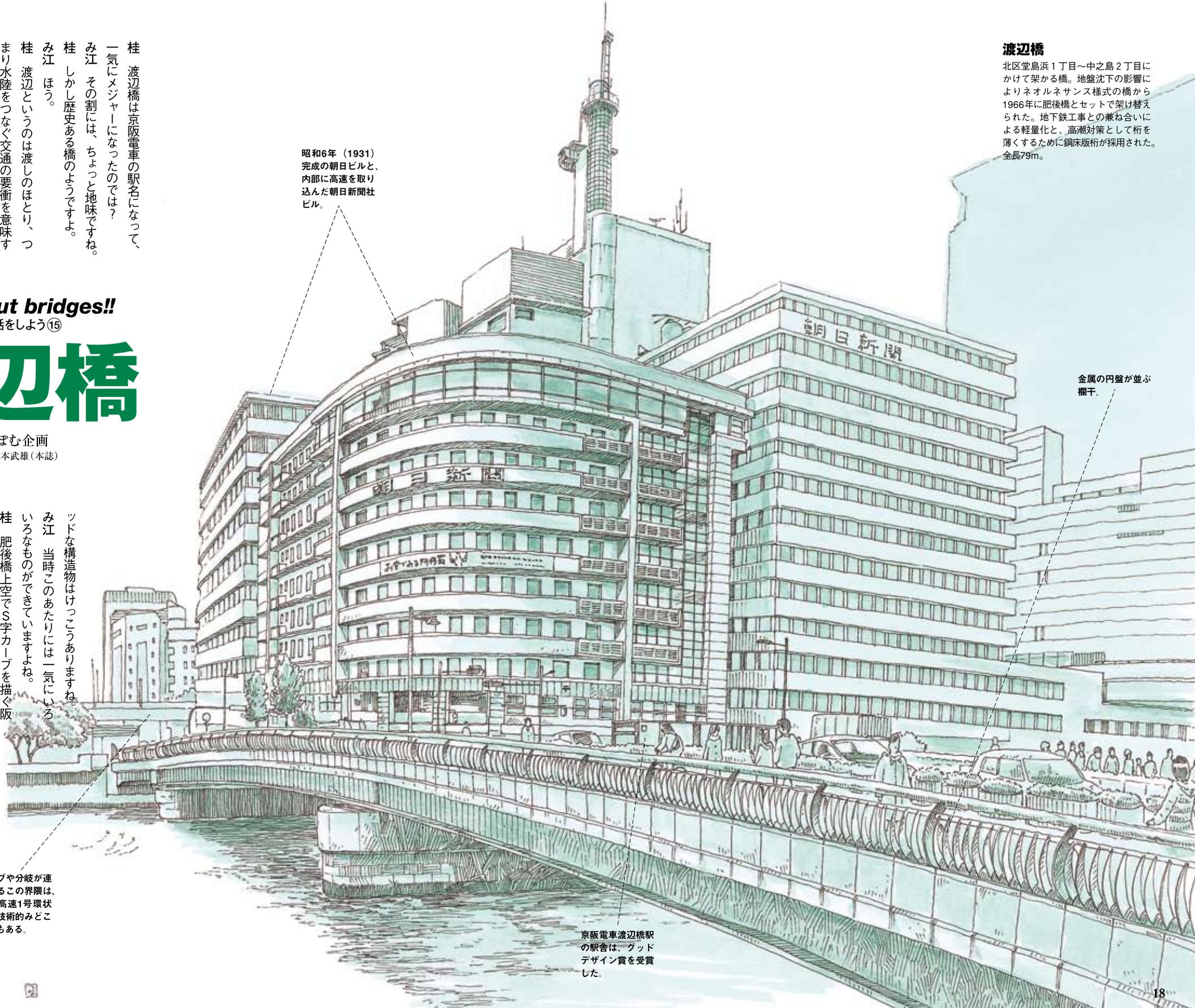
室内には薬師如来像、地藏菩薩像、弘法大師像などが安置されている。ちなみにこちらは奈良仏教の法相宗。とすれば弘法大師は…? 「密教では、すべては大日如来の表現だと考えますので、本尊が阿彌陀如来のお寺もありますし、薬師如来のお堂もあります。経緯がよく分かりませんが、お寺は途中で宗派が変わったりしていることがけっこうあるんですよ。もとは法相宗だったけど、江戸時代に真言宗になった、とか。宗派が変わったお寺は珍しくありません」(釈先生)。日本仏教史の奥行きをも感じさせる堂島薬師堂なのであった。

渡辺橋

北区堂島浜1丁目~中之島2丁目にかけて架かる橋。地盤沈下の影響によりネオルネサンス様式の橋から1966年に肥後橋とセットで架け替えられた。地下鉄工事との兼ね合いによる軽量化と、高潮対策として桁を薄くするために鋼床版桁が採用された。全長79m。

金属の円盤が並ぶ欄干。

京阪電車渡辺橋駅の駅舎は、グッドデザイン賞を受賞した。



昭和6年(1931)完成の朝日ビルと、内部に高速を取り込んだ朝日新聞社ビル。

カーブや分岐が連続するこの界隈は、阪神高速1号環状線の技術的みどころでもある。

桂 渡辺橋は京阪電車の駅名になって、一気にメジャーになったのでは？
み江 その割には、ちょっと地味ですね。
桂 しかし歴史ある橋のようですよ。
み江 ほう。
桂 渡辺というのは渡しのほitori、つまり水陸をつなぐ交通の要衝を意味する言葉で、今の天神橋や天満橋のあたりを指したそう。平安末から南北朝時代には、あたりを根城とする渡辺党という武士団がいて、渡辺橋の名は、古くは『源平盛衰記』にも登場するとか。
み江 渡辺党：ワルそうなきや、
桂 いま架かっている場所にも江戸時代から橋があつて、明治21年(1888)に鉄橋化、明治41年(1908)には市電対応の頑丈な橋に、昭和2年(1927)には二連アーチのおしゃれな橋にと、順調に進化したのであります。
み江 順調に成り上がりでしたね。
桂 ところどころに、**地盤沈下**という

Talk about bridges!! 橋の話をしよう⑬

渡辺橋

文/ぼむ企画
絵/網本武雄(本誌)

避けがたい難問が押し寄せるわけ。
み江 まあ…この界隈の持柄ですね。
桂 そこで架け替えられた今の橋は、肥後橋と渡辺橋をまとめてセットで、地下鉄と一緒につくっているんです。
み江 ハイブリッドだ、
桂 近くの**朝日新聞ビル**でも建物の中を高速道路が通っていたり、ハイブリ

ツドな構造物はけっこうありますね。
み江 当時このあたりには一気にいろいろなものができていますよね。
桂 肥後橋上空でS字カーブを描く阪神高速1号環状線が昭和39年(1964)に開通。朝日新聞ビルが昭和43年完成。
み江 高度経済成長期で、万博が来て。もう建設の源平合戦だよ(意味不明)。
桂 難工事の影響から橋自体はけっこうストイックなのですが、贅沢にキメているのが橋の高欄です。
み江 あの円盤が並ぶキラキラした欄干……そこはかとなくワルの匂い。
桂 渡辺党のDNAでしょうか。
ぼむきかく たかみ江、平塚桂の2人による建築ライターユニット。「カーサ・ブルータス」ほかの雑誌にも執筆。「けんちく家対決」や「けんちく雑誌ガイド」など独断と偏見に満ちたコンテンツの溢れるHPも必見。

※1 地盤沈下
地下水の汲み上げに由来する、大阪の悩みの種。対処するために架け替えやかさ上げが行われた橋も多く、残った橋も古い写真と比べて強意味。

※2 朝日新聞ビル
昭和43年完成。中にトンネルをつくり、道路を通すという発想が組み込まれた日本初の建物。高層ツインタワーへの建て替えが予定されている。



大阪マルシェ 「ほんまもん通信」

vol.4
2010.1.1



from 大阪・豊能郡
山口食品
山口宗太郎さん(27)

●納豆
関西の、特に年配の人は納豆が苦手だと言われますけど、予想以上に評判がよくて、驚きました。うちのイチオシ商品は赤豆納豆。粒が大きくて、嚼むほどにおいしさが広がります。タレも、ボン酢や醤油など、みなさんお好みの味があるようです。ゆずの皮を刻んで入れるのもいいよ、とお客さんに教わったこともありました。



from 和歌山・湯浅
紀州あみ清
数見美紀さん(36)

●みそ・梅干・醤油
お客さんの顔が見られることがマルシェの魅力やと思います。お客さんが作り手の顔を気にするように、作り手も、食べてくれる人の顔が気になるんです。和歌山の金山時みそを、多くの人に知ってもらいたくて出店しますが、和歌山出身のお客さんも多い。「懐かしい」って言ってくれる人に出会うと、それはそれで嬉しいですね。



from 大阪・岸和田市
メイドイン泉州
小池寿一さん(50)

●佃煮などの加工品・野菜
今、一番人気の商品は水茄子カレーやね。泉州の水茄子を使ったレトルトカレーなんやけど、テレビで紹介されたこともあって、買ってくれる人が多いです。野菜も、どんな食べ方がいいのとか、保存方法とか、熱心に聞いてくれる人が多。お客さんがどんなことに興味を持ってるか、直接伝わるから、こちらも勉強になるわ。

茶工房 二の楽 安岡拓さん(50)

●緑茶・紅茶・せっけん
おすすめは「べにふうき緑茶」。有機JASマークを取得しています。地球にやさしいものを作りたい。お茶を作りはじめたのは、その思いからです。お客さんの中には、「自分も作りたい。ぜひ、教えてほしい」と言う人もいて嬉しかったなあ。商品を届けるだけでなく、作り手を育てるというのも、僕らの使命やから。



from 大阪・茨木市
こだわり食材 デミ姐屋
片桐知子さん(54)

●どら焼き・大福
いいものだけを集めてるから、変な場所で売りたいくないんです。その点、マルシェは「ほんまもん」が集まるから、安心して出せます。うちは仲介業ですから、生産者の声を届ける責任がある。ここに来るお客さんは食べ物に対する興味が旺盛。以前押し麦を出したら、すぐに売れた。めずらしい食材にも積極的な人が多いですね。



from 京都・京丹後市
Acacia Farm 丹後野村牧場
吉岡辰規さん(33)

●アイスクリーム・お米・くだもの
素材に対して強い関心を持っての方が多くですね。口にするものに対して、みなさんすごく敏感になってる。特に農法を気にされるお客さんが多い。イチオシの商品は、丹後の牧場で作ってるアイスクリーム。乳牛に食べさせる草も、自分たちで育てています。そしてその牛の堆肥で、お米やくだものを作る。牧場で全てまかなってるんです。

新年第1回目の「ほんまもん」通信は大阪マルシェに集まってくれている、生産者の方々の声をご紹介します。各地から多くの顔が揃う中、共通するのは「食べてほしい、知ってほしい」という思い。今回は月刊島民が取材したけれど、今度はあなたが素材のこと、調理法などあれこれ聞いてみよう。



from 大阪・和泉
泉州ファーム 森の小屋
森口正路さん(75)

●みかん・野菜・きのこ
和泉の畑で採れた野菜やくだものを、いろいろ持ってきてます。みかんはいいのがたくさん出来たから、色んな人に食べてもらいたい。どんどん試食してください。食べてみて、「おいしい」って買ってもらえるのが一番いい。毎回、家族総出でやらせてもらってます。娘や孫に手伝ってもらって、一緒に店をやれるのも嬉しいなあ。



鶴見緑地、 鞆公園でも大盛況!

中之島ではすっかりおなじみとなった大阪マルシェだが、他の街でも大好評を得ている。「もってやっってほしい」との声が相次いだ。この盛況の背景にはそれぞれの公園や街の性格が表れていて面白い。まず挙げられるのが、生活密着型の公園である点。鶴見緑地(右下写真)・鞆公園とも周囲に住んでいる人たちにとってはほとんど生活の一部。自分たちの「庭」といった意識が強い。イベントをやっているだけでなく、愛される場所であったことは、勝因の一つと言える。



もう一つ、絶大な効果を発揮したのが「回覧板」だった。区役所や町内会のご協力を得て、マルシェ開催のお知らせを掲載。これが住民への一番のバブリシテイとなり、鶴見緑地では準備段階から行列ができた。町



内会や回覧板という、なんだか「三丁目」の夕日」的な一世代前のものといった印象もあるが、大間違い。大阪市内の「都市型コミュニティ」の強さを実感する結果となったのである。今回の開催は鞆公園が1月10日、鶴見緑地が1月24日。中之島マルシェ御用達のみならず、また違った雰囲気

のマルシェを味わいに足を運んではいかがか。鞆公園では、生産者によるワークショップも開催。

鞆公園では、生産者によるワークショップも開催。

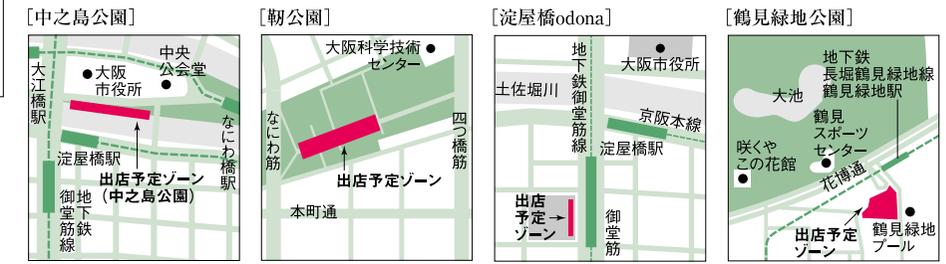
◎1月のほんまもんカレンダー

※小雨決行、荒天中止とさせていただきます。※開催時間は諸事情により、急きょ変更になる場合があります。※主催者側では駐車スペースをご用意しておりません。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 お休み
3 お休み	4	5	6			9 お休み
10 鞆公園朝市 10:00~15:00	11	12	13			16 中之島朝市 9:00~14:00
17 淀屋橋odona 11:00~14:00	18	19	20	21	22	23 中之島朝市 9:00~14:00
24 鶴見緑地公園 10:00~15:00	25	26				30 中之島朝市 9:00~14:00
31 お休み						

「マルシェBBQ inナンジャーノ」開催!
詳しくは→P22

「ブリーゼ・マルシェツアー」開催!
詳しくは→P22



カレンダー・生産者情報・出品物リスト・アクセス...
大阪マルシェの公式サイトができました!
www.osaka-marche.info

大「島民」MAP 橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です!



『月刊島民』はここでもらえます。

京阪電車関連：京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋

書店：ブックファースト梅田店/旭屋書店 本店/旭屋書店 梅田地下街店/旭屋書店 堂島地下街店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ブックファースト 淀屋橋店/文芸堂書店淀屋橋店/福家書店 淀屋橋店/天牛堺書店 大江橋店/紀伊國屋書店 本町店/ジュンク堂書店 天満橋店/アパルティBC OMMビル店/紀伊國屋書店 京橋店/隆祥館書店/なんば書店カルチャーコーナー

公共施設・大学関連施設ほか：大阪市中央公会堂/府立中之島図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪市立中央図書館/大阪歴史博物館/大阪狭山市立図書館/奈良県立図書館情報館/大阪国際会議場/市立住まい情報センター/大阪商工会議所/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪企業家ミュージアム/味の素 食のライブラリー/朝日カルチャーセンター/大阪大学中之島センター/大阪大学本部/大阪大学21世紀懐徳堂/摂南大学地域連携センター/慶應大阪リバーサイドキャンパス/追手門学院 大阪城スクエア/追手門学院 大手前センター/専門学校中の島美術学院/大阪工業技術専門学校/ろうきんギャラリー心斎橋/大阪倶楽部/芝川ビル/N4タワーマンションパビリオン/ホテルNCB/ABC朝日放送/大阪フィルハーモニー会館

店舗・医院など：江戸前焼料理 志津可/ラ・クッカーニャ/アリアスカ マーブルトレ/MANGUEIRA/Girond's JR/しろ亭/ミニジロー/黒門さかえ/花かつ/ティーハウスムジカ/MJB 珈琲/平岡珈琲店/喫茶SAWA/アンドール本町本店/あじさい/BAR THE TIME 天神/タバーン・シンパソン/バスターレ/LES LESTON/大西洋服店/上町貸自転車/ザ・メロディ/セブイレブン大阪証券取引所店/吉田理容所/たまたがわ鍼灸整骨院/宮崎歯科/心斎橋山田兄弟歯科/東郷歯科医院/ネイルサロンスワンナ

バックナンバーお譲りします。

2008年8月に創刊した『月刊島民』。大きな支持をいただいていることは、「バックナンバーありませんか?」と月刊島民プレスを訪ねてくる方々の多さからも伝わってきます。さて、そのバックナンバーにつきまして、1冊につき100円をいただくこととなりました。号を重ねていくうちに保管用のスペースが必要となり、そのための維持管理費を負担していただく形です。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしく申し上げます。お問い合わせは下記の電話番号まで。

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)
編集・発行/月刊島民プレス
若狹健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)
松本 創 大迫 力(編集集団140B)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)
デザイン/山崎慎太郎
表紙イラスト/奈路道程
印刷/佐川印刷株式会社

次号予告 落語を一席いかがでしょう。

三十石船の発着点・八軒家浜や、夕涼みの船を見下ろす難波橋など、上方落語の舞台にはしばしば中之島が登場する。噺の舞台から落語会を行う寄席まで、陽〜気にお送りしよう。

●『月刊 島民』vol.19は2010年2月1日発行です!

どこでやっているの?
出店してみたい!
うちでもマルシェをやってみよう...

お問い合わせはなんでも
マルシェ・ド・大阪テロワール実行委員会(事務局)
☎072・415・4500

マルシェ×BBQ

マルシェで出会う新鮮な食材の数々を前に「これをアテに飲めたら」と考える人も多いのでは。そんな夢(つて、たいそうですが)を叶えてくれるのが、堂島にある「ナンジャノ」。渦巻きソーセージや厚切りベーコンなど、各地からちょっと変わった食材を集めるバル風酒場で、得意技は炭焼き。ゆえにマルシェの食材をたっぷり使ったバーベキューは、ベストマッチなのである。野菜だけでなく、こちらで出している肉や魚もBBQに登場する予定。「今後、仲の良い店も巻き込んで、大きくできたら」と、店長の富水さん。イベントはあちろん、これからの展開にも期待したいところ。



マルシェ BBQ in ナンジャーノ

日時/1月16日(土) 18:00~
料金/1,500円(ドリンク代は別途)
定員/20名(要申し込み・スタンディングの場合あり)
申し込み・問い合わせ/☎06-6454-3939 [ナンジャーノ]



大阪マルシェの連動企画続々

マルシェ×ツアー

西梅田のブリーゼブリーゼとの連動企画は、マルシェで買えるものを楽しんだあと、同ビルに入るイタリアン「カンティナーピアノピアノ」でランチができるツアー。マルシェ会場では、その日の生産者の方のお話を聞きながら、野菜の選び方や買取りもののコツなどを教わることもができる。また、ランチでは橋本智也シェフによるマルシェに出品されている食材を使った特別ランチコースをいただける。「学び」が加わるのが特徴だ。

ブリーゼサロン特別企画 ブリーゼ・マルシェツアー

開催日/1月30日(土)・2月6日(土)
時間/11:30~12:30(マルシェで買いもの)
13:30~15:00(【ピアノピアノ】でランチ)
※現地集合・現地解散
会場/中之島公園(変更の場合あり) 定員/各回15名
参加費/3,000円(ランチ代・税・込み)
申し込み方法/氏名・電話番号・希望日時を明記し、salon@breeze-breeze.jpまでお申し込みを。各回2日前まで受け付けます。
※雨天中止・小雨決行。悪天候などによるツアー中止の際は、前日午後6時までに連絡します。※受付の通知は順次行い、定員に達し次第締め切り。お受けできない場合もご連絡します。※メール受信拒否設定をしている場合は、@breeze-breeze.jpからのメールを受信できる設定に。返信できない場合、ご参加いただけない場合があります。

“トッピング感覚”でトリュフをどうぞ。

[ル・コントワール・ド・ブノワ]ではフランス産の黒トリュフを原価で量り売ります。高級食材とされるトリュフは意外に使い方の幅が広く、“トッピング感覚”で、さまざまな料理との相性を味わってみてください。
お値段のめやす:0.5g(トリュフ6~7枚)
¥1,000程度(価格は変動いたします)
期間:1月6日(水)~31日(日)

●【ムニユド・聖バレンタイン】ご予約承ります。
2月13日、14日にはバレンタインデーに合わせた特別コース(乾杯のお飲み物付き ¥8,000税込・サ別)をご用意いたします。デセールは3層に重なったハート型のスポンジの中に、それぞれ違ったアレンジをお楽しみいただけます。

ル・コントワール・ド・ブノワ
大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼブリーゼ33F
☎06-6345-4388
ランチ11:00AM~2:30PM(L.O)
カフェ2:30PM~4:00PM(L.O)
ディナー5:00PM~9:30PM(L.O)
無休



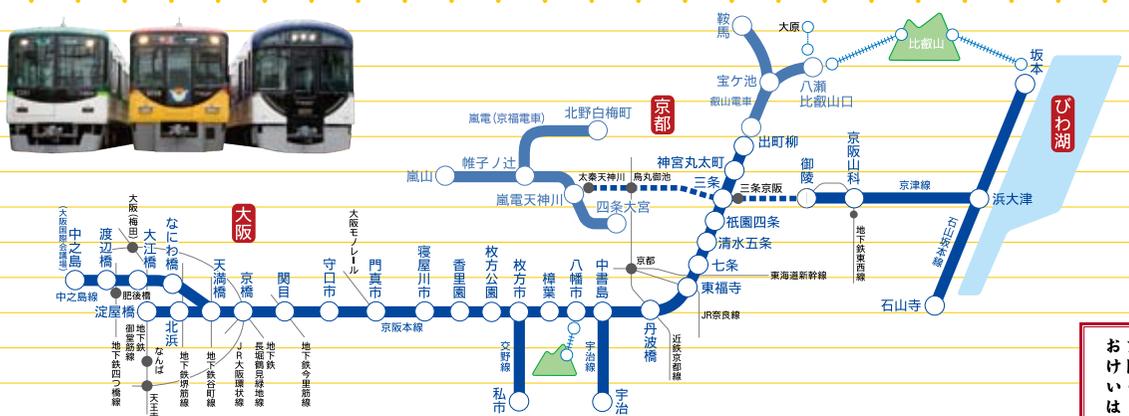
「お皿の上には、必要なものしかのせません」
—アラン・デュカス



もうひとつ先の
 京都に会いたくて。



楠葉けい子 (大学生)
 石堀小路



京阪の
 人。
 おいはいん。

京阪電車お客さまセンター ☎06-6945-4560 ※おかけ間違いのないようにお願いします。
 [平日] 9時～19時 [土休日] 9時～17時 ※12月30日～翌年1月3日は休業

おいはいん 検索
www.okeihan.net